



平成30年3月29日

各 位

会 社 名 第一交通産業株式会社
代表者名 代表取締役社長 田中亮一郎
(コード番号 9035 福証)

ミャンマー日本語学校の建設及び運営について

当社は、ミャンマー・ヤンゴン近郊の日本主導のティラワ経済特区（Thilawa SEZ）に隣接するタンリン地区バングエゴン（Thanlin Banbwagon）に日本語学校を建設し、運営することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 運営参加の目的

ミャンマー・ヤンゴン、特にティラワ経済特区に進出する日本企業向けの人材育成、かつ、日本での労働力不足業種への将来的なミャンマー人材の送り出しに寄与すべく、日本語教育・職業訓練を開始します。また、将来的に第一交通産業グループでの卒業生の受け入れを念頭に置いています。

2. 日本語学校の概要

名 称	ティラワ第一日本語学校（仮称）
所 在 地	ミャンマー タンリン地区 バングエゴン
運営形態	ミャンマー法人 ティラワ第一交通株式会社と第一アジア株式会社（当社ミャンマー100%子会社）の共同事業。（但し、ヤンゴン市開発委員会（YCDC）、投資企業管理局（DICA）の認可条件に準ずる）
開 校	平成30年9月（予定）
校 舎	約1,000㎡の土地に、3階建ての校舎を建設中（完成予想図添付）
運 営	日本語教師（ミャンマー人4名）、事務局（ミャンマー人3名、日本人1名）、職業訓練指導員は、第一交通産業グループから派遣予定。
そ の 他	生徒数最大定員150名、約18カ月間の日本語教育を実施する。 現地日系企業や日本企業への就業を希望する生徒へ、日本のビジネス慣習やマナー、希望職種の知識習得、基礎的な職業訓練も行う予定。 第一交通産業グループは、ミャンマーで現地法人2社を経営しており、ミャンマー人スタッフ約170名のマネジメント経験を、当該日本語学校の運営に活用します。

3. 今後の業績に与える影響

平成30年3月期の連結業績に与える影響は、軽微となる見込みです。

以 上

問合せ先 総務部 広報担当

TEL：093-511-8811

(参考：ティラワ第一日本語学校 完成予想図)

